

PCP研究会 Newsletter

No. 13

Advance

～精神科薬剤師のさらなる進化への挑戦～

発行:PCP研究会広報委員会

巻頭言

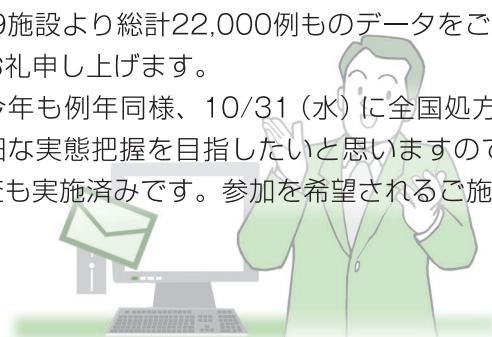
今年度の診療報酬改定で新設された「病棟薬剤業務実施加算(100点)」。前号の巻頭言では当研究会副代表世話人の天正雅美先生から、この加算の認定に至るまでの日本病院薬剤師会の苦労と今後の検証の重要性について述べていただきました。私の所属する病院では事務方との書類確認、薬剤師の職務職掌を見直すことで、なんとか申請をすることが出来ました。そして、病棟薬剤業務開始から早3ヶ月が過ぎました。これまでの薬剤管理指導業務とは別に、1日当たり4~5時間程度の薬剤業務をどのように行うか?正直はじめのうちは薬剤管理指導業務の延長で自分の受け持ち患者のみを対象とした業務内容でした。ところが病棟業務時間が長くなり薬剤師が病棟スタッフの目の付くところに居るようになると、これまで想定外の様々な相談や出来事に遭遇するようになりました。窒息した患者の救急対応、点滴速度の問題、水薬与薬方法の問題、抗菌薬のTDMシミュレーション依頼などなど。ここ最近になって気が付いた事は、精神科の治療現場においても精神科以外の薬に関する問題は常に起こっているということです。そして、その問題に対して薬剤師は出来るだけ早いスピードで回答し、安全で適切な医療の提供に貢献しなければなりません。今でもかつての上司が話していたことを思い出します。「薬剤師はジェネラリストだと思う」病棟薬剤業務を始めてみて、この意味が良く理解できました。PCPブロック講演会などに熱心に参加されている皆さんは、きっと「精神科薬物療法認定薬剤師」や「精神科専門薬剤師」を目指して日々自己研鑽に励んでいると思います。私はこれを決して否定するつもりはありません。ただ、精神科病院では医師をはじめ多くの職種が専門的な知識をもって仕事をしています。その中で薬剤師は精神科に特化した知識だけを求められるのではなく、医師が苦手な分野の薬に関する知識も要求されるということです。患者さんの身体合併症の知識程度は普段から整理しておくべきだと痛感しています。

東北ブロック世話人 黒沢 雅広

2012年度全国処方調査協力依頼

PCP研究会では、本邦の統合失調症に対する処方実態・動向を把握するため、2006年以降毎年処方調査を行っています。昨年は、これまでの調査項目に加え、身長、体重、罹病期間、心電図異常など新規項目数の大幅な増加にも拘らず、全国149施設より総計22,000例ものデータをご提供いただきました。多忙な業務の中ご協力いただきました先生方、改めてお礼申し上げます。

さて今年も例年同様、10/31(水)に全国処方調査を行います。昨年を上回るデータ(目標30,000例)を収集し、より詳細な実態把握を目指したいと思いますので、皆様のご協力を願いいたします。尚、今回の調査に関しては、倫理審査も実施済みです。参加を希望されるご施設は、メールにて事務局までご連絡ください。



PCP調査委員会 宇野 準二

2012年度上期の活動状況

基本テーマ：これからの精神科急性期治療

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数	
北海道	札幌	7月 8日	東邦大学 吉尾 隆	札幌花園病院 齋木 良太	平松記念病院 矢萩 英一	46	
東北	盛岡	6月 3日	一陽会病院 伊藤 光宏	一陽会病院 伊藤 光宏	青南病院 黒沢 雅広	26	
	仙台	6月17日	青葉病院 永嶋 弘道	青葉病院 永嶋 弘道	青南病院 黒沢 雅広	28	
関東・甲信越	東京	9月 9日	東京都立松沢病院 針間 博彦	大泉病院 新井 龍義	東京女子医科大学 高橋 結花	45	
	大宮	9月 2日	久喜すずのき病院 島田 秀穂	西熊谷病院 福島 泰輔	群馬県立精神医療センター 川島 篤視	37	
	千葉	6月10日	千葉県精神科医療センター 山中 浩嗣	恩田第二病院 太田 克也	聖マリア記念病院 長谷川 毅	26	
東海	名古屋	7月22日	北津島病院 渡部 和成	北津島病院 渡部 和成	上林記念病院 羽實 元太	松崎病院 北向 京子	51
北陸	金沢	7月 1日	富山県立中央病院 藤井 勉	松原病院 平川 究緑 今越 照美	グリーンヒルズ若草病院 杉原 政良	33	
近畿	大阪	7月22日	さわ病院 澤 温	さわ病院 出口 靖之 谷水 知美	—	56	
	京都	8月 5日	浅香山病院 田中 秀樹	京都大学医学部附属病院 杉原 玄一 八田 真菜美	—	52	
中国・四国	鳥取	9月 9日	鳥取大学 兼子 幸一	鳥取大学 長田 泉美	鳥取医療センター 斎藤 早苗	養和病院 瀬川 恭子	19
	愛媛	8月26日	松山記念病院 木村 尚人	松山記念病院 父田 智子	—	19	
九州	福岡	8月 5日	西海病院 磨井 章智	虹と海のホスピタル 進藤 太郎	小島居諫早病院 久保 慎司	虹と海のホスピタル 進藤 太郎	105
	鹿児島	9月 2日	新垣病院 大田 郁也	松下病院 福元 晋一郎	谷山病院 馬庭 遼	桶狭間病院 藤田 潔	28
	沖縄	6月17日	新垣病院 大田 郁也	天久台病院 古波藏 匠志 村田 美智子	東邦大学 吉尾 隆	24	

年会費お支払いに関するお願い

PCP研究会の年会費のお支払いは、従来よりお振り込みにてお願いしておりますが、最近は講演会場でお支払いされる方が増えております。

会が始まる直前は多くの方が受付に集中し、確認や対応に時間を要し、参加者の皆様方にご迷惑をおかけしております。

このような状況を考慮し、皆様方をお待たせすることなく、また金銭授受のミスなどを避けるためにも、年会費は何卒お振り込みによる入金でお願いいたします。

年会費の振り込み方法に関しては、「PCP事務局掲示板」(最終ページ)をご覧下さい。

何卒ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

PCP事務局より

ブロック講演会 参加会場に関するお知らせ

いつもPCP研究会のブロック講演会にご参加いただき、ありがとうございます。

ご存じのようにPCP研究会のブロック講演会は全国8ブロック15会場で開催しておりますが、PCP会員の皆様はご自身の所属ブロック内だけではなく、ご都合にあわせ全国のお好きなブロック講演会への参加が可能です。今後、他ブロック講演会へ参加される際は、お手数をおかけしますが、PCP事務局へ事前にご連絡くださいますようお願いいたします。これからもPCP研究会ならびにブロック講演会への参加をよろしくお願い申し上げます。

PCP事務局より



双極性障害のパイロットスタディを行いました

双極性障害で入院している患者の処方調査を各世話人の施設で実施しました。そのデータについて集計結果を報告いたします。

★データ数：189症例(男性：93名、女性：96名)

★平均年齢：57.9歳(21~88歳)

気分安定薬処方率 83.1%

抗うつ薬併用処方率 24.2%

調査項目として、抗うつ薬の他に、抗精神病薬、抗パーキンソン薬、抗不安薬・睡眠薬、増強療法薬についても調査を致しました。詳しい調査結果は、11月4日(日)に東京都竹芝で開催される「第6回 精神科専門薬剤師セミナー」において発表する予定です。

関東・甲信越ブロック世話人 加藤 剛

CINP World Congress (Stockholm Sweden)

サッカー UEFA欧洲選手権2012(EURO 2012)開催直前の6/3~7、スウェーデンのストックホルム(ノーベル賞で有名)において、CINP World Congressが開催されました。昨年のCINP Thematic Meetingとは規模が違い、ポスター発表のエントリーだけで800演題超。今回は、“Survey of Prescription 2nd generation antipsychotics in inpatients with Schizophrenia in Japan : A Nationwide Multiple-center Survey on Prescriptions in 2010”という演題で、2010年の調査結果をポスター発表しました。

世界の著名人によるレクチャーはもちろん、エキサイティングなディベートは昨年にも増して圧巻で、毎回立ち見が出るほどの人気でした。

次回は2014年6/22-26、バンクーバー(カナダ)でCINP World Congressが開催されます。是非、ご一緒しましょう！

東海ブロック世話人 宇野 準二



第6回 精神科専門薬剤師セミナーのご案内

テーマ：最適な治療アウトカムを目指した双極性障害薬物治療

日時：2012年11月4日(日)10:00 - 15:40

会場：NEW PIER HALL(東京・竹芝)

参加費：4,000円(セミナー当日にご準備ください)

共催：朝日新聞社、大塚製薬株式会社、精神科臨床薬学研究会



第6回を迎える今回は、そのメインテーマを「最適な治療アウトカムを目指した双極性障害薬物治療」として、講演を2演題、ランチョンセミナー、実際の症例を取り上げてのパネルディスカッションを予定しております。会員の先生方も是非ご参加ください！

認定単位：日本薬剤師研修センターの研修受講シール(3単位)のみ

中国・四国ブロック世話人 北川 航平

第5回 みんなねっと茨城大会お薬相談のご案内

今年は偕楽園で有名な、茨城県で開催されます。(大会の詳細については、<http://seishinhoken.jp/events/view/347>をご参照ください。) 会場は、つくば国際会議場。お薬相談の時間は、1日目：11月21日(水)11:00～17:00、2日目：11月22日(木)9:00～12:00で行います。

「お薬相談」とは、PCP研究会によるボランティア活動の一環で、「みんなねっと家族大会」で会場の一部スペースをお借りしまして、実施しております。

みんなねっと家族大会が開催されている2日間にわたり、みんなねっと参加者の方(通院されているご本人またはそのご家族・ご友人など)が無料で精神科薬剤師によるお薬について相談いただけるコーナー(ブース)を展開しています。

日頃より身近にあるお薬について、実際に服用し感じていること、薬の情報を得たことにより生じてしまった混乱や不安、服用していく日常生活で困っていることなど、日ごろ時間がなかつたり、遠慮してしまったりとなかなか気軽に相談できない方々がお見えになられ毎年2日間で約30名が相談されております。

お薬相談を行うにあたり、精神科医療の薬物療法において少しでもお役に立つことが出来ればと願っております。

関東・甲信越ブロック世話人 長谷川 豪

世話人辞任にあたって

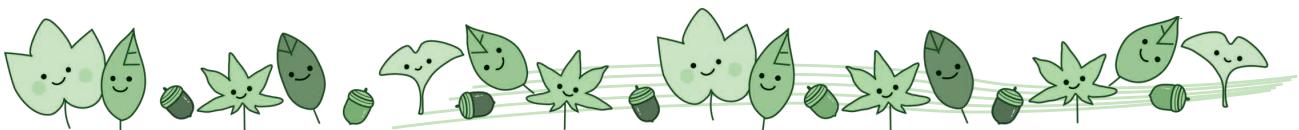
私がPCP近畿ブロック世話人に就任したのが2008年、以来4年間京都地区での講演会の企画・運営に携わってきました。PCP講演会は精神疾患の薬物療法に関する講義から実際の症例の診断・治療法の考察に至るまで、薬剤師としては非常にハイレベルな内容を丸一日かけて行うにも関わらず、毎回熱心に参加して下さる方が非常に多く、毎回楽しみにしているという有難いお言葉も頂き、世話人としてもやりがいを感じ、充実した4年間でした。10年勤めた精神科病院から一般病院に進路を変えたことにより、この度世話を辞退することに致しました。お世話になった吉尾PCP代表世話人を始め、PCP世話人の方々、そして講演会を盛り上げて下さったPCP会員の皆様には本当に感謝しております。一般病院の先生方にも精神科領域のことを広く正しく知ってもらえるよう、これまでの経験を基に今後も尽力していきたいと思っております。

近畿ブロック世話人 吉本 孝

2012年度下期ブロック講演会開催(予定)のご案内

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札幌	12月 1日(土)	大塚製薬(株)札幌支店
東 北	盛岡	11月18日(日)	マリオス盛岡
	仙台	12月 9日(日)	アゼリアヒルズ・アゼリアホール
関東・甲信越	東京	3月10日(日)	秋葉原UDX
	千葉	2月10日(日)	大塚製薬(株)千葉支店
	大宮	3月 3日(日)	ラフレさいたま 4F 檻の間
東 海	名古屋	3月 3日(日)	ウインクあいち 愛知県産業労働センター
北 陸	金沢	3月 3日(日)	石川県地場産業振興センター 本館2F 第1研修室
近 畿	大阪	2月 3日(日)	梅田スカイビル
	京都	2月17日(日)	メルパルクKYOTO
中国・四国	広島	3月24日(日)	広島グリーンアリーナ
	香川	2月 3日(日)	ホテルパールガーデン 1F 玉藻
九 州	福岡	3月17日(日)	福岡国際会議場
	鹿児島	3月17日(日)	天文館ビジョンホール
	沖縄	2月17日(日)	沖縄産業支援センター

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況をご覧ください。



事務局 掲示板

■2012年度会費(2012年4月～2013年3月分、年会費：2,000円) 納入のお願い

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】 口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

※通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。

(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

※本Newsletterに同封の振り込み用紙は手数料無料です。

※複数人での振り込みも承っております。

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ
<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

■特別講演DVD「これから的精神科急性期治療」貸出中

2012年度上期講演会を欠席された会員の皆様にDVDを貸出しております。
希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホームページに掲載)の貸出も受け付けております。

■事務局連絡先

E-mail : contact@pcp-rg.org (メールには必ず1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)
URL : www.pcp-rg.org Fax : 03-6717-1484

【編集後記】

大型医薬品の特許が一斉に切れるという2010年問題に伴い、様々なジェネリック医薬品が発売されてきたことは皆さんも承知のことと思います。このように先発医薬品とジェネリック医薬品が多種多様に混在する中、最良の医薬品を見つけるのも薬剤師の仕事だと考えております。薬剤師の仕事も多種多様になっておりますが、みんなで力を合わせて頑張って行きましょう。

(M.S.)

